

### <白金標準、2008 年の高値 7584 円に迫る値動き・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は医薬品に対して 100%の関税を課すと発表している。特に半導体、医薬品の他に重要鉱物に対する関税も控えている。特に 8 月にシルバーが重要鉱物に指定されると上昇が始まっている。既にプラチナとパラジウムは 2022 年に重要鉱物の指定を受けており、依然と NY マーカントイル取引所のプラチナ指定倉庫は 25 日現在で 18.9 トンまで増加を続けている。特に 25 日で重要鉱物に対する企業からの意見を聞く 30 日間のパブリックコメントを終えており、何時でも関税に対する発表が聞かれてもおかしくないと思える。また金価格に比べ割安感が強い白金価格だけに、需給を左右する要因には大きく反応する値動きを見せている。特に NY 白金は、1500 ドルを超えると中心限月が 1 月限に変化したことから 1600 ドルを超える値動きを見せており、円建て価格の白金標準先物を押し上げている。その白金標準先物は、週末には 7248 円まで高値を試し、18 日の安値 6101 円から短時間で 1147 円の上昇を行っている。特に過去の高値が 2008 年に付けた 7584 円が存在する。その価格差が 336 円まで迫るなど今週中に試す可能性は高まっていると思え、安易な売り狙いは避けた方が良いと思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も切り上げている。また RCI では**短期**が**長期**は上回り、**短期**と**長期**が横ばいするなど強気を維持していると思え、高値追いが継続中に思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 9 月 29 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2025 年 9 月 29 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>